

## さくら市議会広報委員会視察研修報告書

議会広報委員会では、令和元年6月24日から25日の2日間の日程で、宮城県川崎町議会、山形県中山町議会、川西町議会を訪問し、議会だよりの紙面づくりについて調査・研究をしてまいりました。

参加者は、大河原千晶副委員長、高瀬一徳委員、吉田雄次委員、櫻井秀美委員、笹沼昭司委員、石原孝明委員、福田克之委員、鈴木恒充委員、事務局職員1名、そして私、委員長の岡村浩雅であります。

詳細は以下のとおりです。

### 宮城県川崎町議会

#### 川崎町の概要

川崎町は宮城県南西部、蔵王連峰の麓に位置しています。宮城県仙台市と山形県山形市の県庁所在地を結ぶ国道286号線（笹谷街道）が通る運搬経路地であります。

若者に人気のARABAKI ROCK FEST.は町内にある「国営みちのく杜の湖畔公園」で開催されています。

#### 研修内容

川崎町議会は町村議会広報コンクールにおいて、平成30年度第2位、平成29年度第8位、平成28年度第10位と上位入賞の常連町です。

川崎町議会だより編集方針は「町民の皆さんに見ていただける広報紙を！」「目指せ！全国制覇」を合言葉に8人の編集委員が携わっています。

編集会議は定例会終了後から発行まで5回行い、議員が主体で行い、事務局は連絡・調整のみ行っています。更に「議会広報コラボレーター」を委嘱し、コラボレーターが撮影してきた写真を委員の皆様で議論し写真を決定しています。

最後には「さくら市議会だより」の講評を頂き、「見出しが少ない、弱い」、「一般質問は～についてではなく、見出し風に」、「編集後記を書くぐらいなら市民一人載せた方がよい」、といった意見も頂きました。こういった貴重な意見を紙面づくりに反映させていただきます。



## 山形県中山町議会

### 中山町の概要

中山町は、奥羽山脈と出羽丘陵に囲まれた山形盆地の西部にあり、北は最上川で寒河江市と、東は須川で山形市や天童市との境となっています。芋煮会発祥の町でもあり、東北楽天イーグルスの2軍は町内にある「中山公園野球場（山形県野球場）」を本拠地として利用していました（現在は利府町）。

### 研修内容

現在の中山町議会だよりは、平成29年5月1日号が初号であり歴史が浅い議会です。それ以前は町の広報紙の中に記事を掲載しており、議会としての独自性を発揮すべく期の若い議員が中心となって議会だよりの発行にこぎつけました。初号発行にあたっては近隣市町を視察し、その良い部分が紙面に反映されています。紙面は利府町紙面を参考にし、構成もさくら市議会だよりに似ていて、親しみのある紙面となっています。また近隣自治体との取り決めで近隣2市2町のイベント情報といった、他の市町にはない記事を掲載しています。

まだ歴史が浅いこともあり、紙面で定型化、固定化されている部分は少なく、読者である町民にどう伝えるか毎回議論しながら編集を行っています。

今回は議会広報常任委員会として初めての視察受け入れとのことでしたが、ざっくばらんに話ができ大変有意義な時間でした。



## 山形県川西町議会

### 川西町の概要

川西町は、山形県の南部にある人口1万5千人ほどの町で、置賜盆地のほぼ中央に位置しています。町内には日本で唯一のダリア園である「川西ダリア園」があり、8月1日から11月上旬まで650種10万本が咲き誇っています。

## 研修内容

川西町議会は町村議会広報コンクールにおいて、平成30年度第3位、平成29年度第2位、平成26、27年度第1位と上位入賞の常連町です。

紙面づくりにおいて、さくら市議会にない取り組みとしては、町内7地区8名（市内小松地区のみ2名）に「広報モニター」を依頼しています。この「広報モニター」は、毎回順番で1名の方に議会に対するご意見を「モニターからひとこと」として掲載しています。また、写真の愛好者に「写真アドバイザー」を依頼し、写真についてアドバイスを受けています。教員経験者には「文章アドバイザー」を依頼し、文章の使い方、表現の仕方についてアドバイスを受けています。さらに「広報懇談会」を、議会だよりの発行及び広聴等を円滑に行うため議員全員で実施するなど、町民を巻き込んだ紙面づくりが行われています。さらに驚いたのは、紙面では1カットしか使わないのに、その1カットのために議員自ら500枚もの写真を撮り、写真アドバイザーに選んでもらっています。

「さくら市議会だよりの」の講評も頂き、「表紙に動きがない」「市民の声をもっと多く載せた方がよい」「余白がもったいない」といった意見も頂きました。こういった貴重な意見を紙面づくりに反映させていきます。



今回視察した3町はいずれもレベルが高く、町村議会広報コンクール入賞にかける思いが伝わってきました。市にはこういったコンクールはありませんが、「市民に読んで頂ける」紙面づくりは共通の目標であります。今回の視察内容をわがさくら市議会だよりに反映させることは時間もかかると思いますが、着実に進めていこうと考えています。